SBI岡三アセットマネジメント

情報提供用資料

2026年11月10日

相場急落を受けた当面の見通し

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式

- 当ファンドは主要な投資対象である「JPモルガン・ファンズ―USテクノロジー・ファンド」(以下、投資先ファンド)への投資を通じて米国のテクノロジー関連企業の株式に投資を行っています。
- 本レポートでは、足元のマーケット急変を受けての当面の見通しについてご説明致します。

AI投資規制への懸念などから株式市場は大幅に下落

足元の投資環境

11月5日のグローバル株式市場では、米中間選挙で民主党が上下両院で多数派を獲得したことを受け、AI規制の強化などによりデータセンター建設が抑制されるとの警戒感が強まり、AI向け需要拡大の期待から上昇してきたAI・半導体関連株に売りが膨らみました。また、AI分野への積極的な設備投資が米国経済の下支えに寄与していたことから、AI・データセンター投資の減速が景気に影響するとの見方も広がり、幅広い銘柄の下落につながりました。

こうしたなか、当ファンドの11月6日の基準価額は前営業日比で、為替ヘッジありが約6.3%下落し、為替ヘッジなしが約6.5%下落しました。

運用状況と当面の見通し

運用チームでは、今回の選挙結果を受けて、データセンター建設の減速懸念から、同関連銘柄に対する市場の期待値が変化する可能性があると見ています。

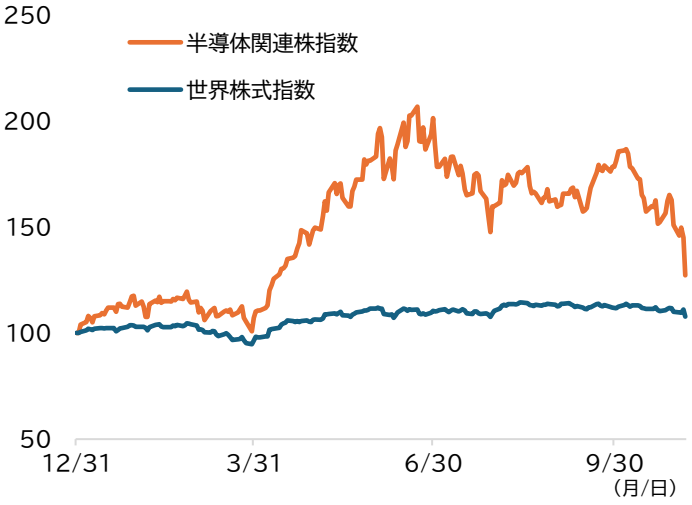
このような市場環境を踏まえ、例えば、データセンター向けの光接続需要を背景にこれまで株価が大きく上昇してきた銘柄などについては、市場の期待値の変化を見極めながら、保有比率の引き下げを検討する可能性があります。一方、投資先ファンドでは、幅広いテクノロジー関連銘柄に投資しており、市場センチメントが悪化する局面は、良好なファンダメンタルズを有する銘柄への投資機会にもなり得ると考えています。

例えば、企業の経営改革やデジタル化を支援するコンサルティング企業や、クラウド監視・セキュリティソフトウェア企業などについては、ファンダメンタルズ対比で株価が割安と判断される場合には、保有比率の引き上げを検討する可能性があります。

引き続き、短期的なテーマにとらわれることなく幅広いテクノロジー関連銘柄を対象に、ファンダメンタルズ分析に基づき、中長期で市場の期待を上回る成長が見込める銘柄への選別投資を継続してまいります。

図表1 主要株価指数の推移

(2025年12月31日～2026年11月5日、日次)

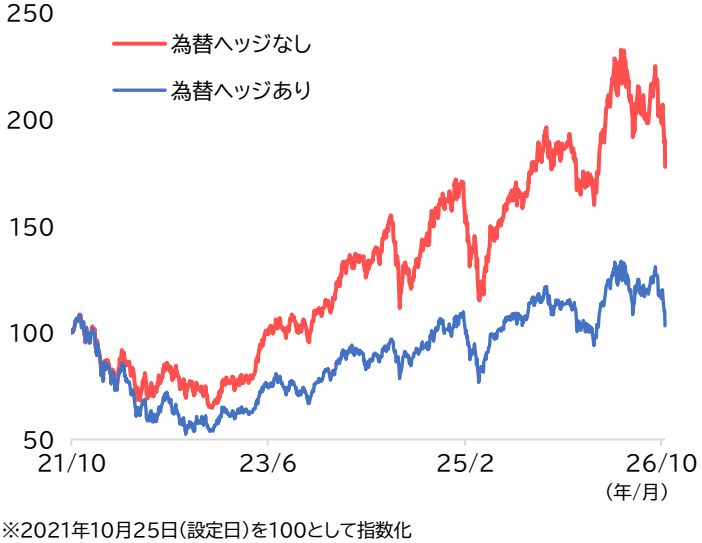


※2025年12月31日を100として指数化
※世界株式指数:MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)
※半導体関連株指数:フィラデルフィア半導体株指数(米ドルベース)
※指数は、当ファンドのベンチマークではありません。市場をご理解いただくための参考としてお見せしています。

(出所)Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表2 当ファンドの基準価額の推移

(2021年10月25日(設定日)～2026年11月6日、日次)



※2021年10月25日(設定日)を100として指数化
※基準価額:信託報酬控除後
※為替ヘッジあり:米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)
※為替ヘッジなし:米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジなし)
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

本資料では「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)」「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジなし)」を総称して「当ファンド」といいます。投資先ファンドはルクセンブルク籍外国投資法人「JPモルガン・ファンズ―USテクノロジー・ファンド」(外国籍、日本での取扱いはありません。)であり、当ファンドはそのシェアクラスである「JPモルガン・ファンズ―USテクノロジー・ファンド(Iクラス)(円建て、円ヘッジ)」「JPモルガン・ファンズ－USテクノロジー・ファンド(Iクラス)(円建て)」に投資します。

情報提供用資料

販売会社一覧 (2026年11月10日現在)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
岡三ビジネス&テクノロジー証券株式会社	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			

※株式会社SBI証券は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
https://www.sbiokasan-am.co.jp

この資料の最終ページに「本資料に関してご留意いただきたい事項」を記載しております。必ずご確認ください。

留意事項

【投資リスク】

■ 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
■ ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、その他の変動要因としては、「カントリーリスク」があります。
※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

■ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
■ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
■ ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
■ 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。
●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞
■ 購入時
　購入時手数料　:購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
　　詳しくは販売会社にご確認ください。
■ 換金時
　換金手数料　:ありません。
　信託財産留保額:ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞
■ 保有期間中
　運用管理費用(信託報酬)
　　:純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
　運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
　　:純資産総額×年率1.948%程度
　　※ 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
　　なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他費用・手数料
監査費用　:純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。
(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

SBI岡三アセットマネジメント

商　号　等:SBI岡三アセットマネジメント株式会社
　金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第370号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会

＜本資料で使用しているインデックス＞
● MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。